

**令和7年度 第3回幸田町総合計画審議会
議事録**

日 時： 令和7年11月10日（月）10時00分～12時00分
場 所： 幸田町役場4階 第3第4委員会室
参加者： 委員名簿（別紙）
配布資料：

- ① 令和7年度第3回幸田町総合計画審議会 次第
- ② 令和7年度幸田町総合計画審議会委員名簿
- ③ 令和7年度第3回幸田町総合計画審議会席次表
- ④ 本編案 第7次幸田町総合計画（素案）
- ⑤ 前回（8/5）審議会時の意見への対応表
- ⑥ 本編デザイン案
- ⑦ 概要版案 第7次幸田町総合計画概要版

1 挨拶

【廣井会長】

- 本日は、これまで委員の皆様にご意見をいただいた基本構想、土地利用計画、基本計画について一冊にまとまりましたので、全体を俯瞰しながらあらためてご意見をいただきたいと思います。

2 議事

（1）第7次幸田町総合計画（素案）について

【事務局説明】

- 配布資料④および⑤に基づき、事務局である幸田町企画政策課の内田主査から総合計画（素案）について説明を行った。

【委員からの意見】

○教育委員会教育長職務代行 中西委員

- 数字やグラフが使われたり、防災協定に関する地図が加えられたり、基本計画の「現状と課題」に小見出しがつけられたりしたことで、見やすくなったと思います。
- 「住民の役割」に代えて「みんなでできること」としたのも良かったです。6つの重点方針すべてにおいて、「関連する取組方針」として「取組方針 6-2 みんなでつくるまちづくり」があげられていることとも整合していると思います。
- 33ページに教育分野においては、子どもの人数が減っていく中で、クラス数を減らすのではなく、25人学級への再編など子ども中心の取り組みを進めてほしいと思います。

- 「重点方針（1）子どもを育み、家族を支える」の「取組内容」に「快適な教育環境、施設の整備」と記述してあるが、モノ中心の表現ではなく、ヒト中心の表現、例えば「教育の充実」などを入れてほしいと思います。
- 「重点方針（3）広く連携して災害に備える」の「取組内容」では「自助・共助の意識啓発」に加えて、「公助」や「連携」という表現を加えてほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- ご意見を参考に表現を修正します。

→ 廣井会長

- ご意見は、重点方針と基本計画の連携が見えないということに起因していると思われるので、重要度で濃淡をつけた記述が必要です。

○農業委員会会長 藤江委員

- 現在、獣害への意識が高まっており、幸田町でも農業被害を減らすため駆除に取り組んでいます。幸田町ではイノシシやシカが中心だが、クマも数は少ないが生息しているということなので、獣害についての記述を加えてほしいと思います。また、遊休農地への対策が害獣を減らすことにもなりますので、同対策も含めて害獣駆除についての記述を加えてほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- ご意見を参考に表現を修正します。

○保健推進委員協議会会長 安藤委員

- 「幸田町こども家庭センター」についてはまだ設置されていないはずだが、「設置された」と記述されているのはなぜか。
- 「育休退園」について「段階的に緩和」と記述されているが、喫緊の課題であり「早急に」取り組んでほしい。

→ 事務局（柴田課長）

- 「幸田町こども家庭センター」は2026年4月1日付で設置されるため、同年度から始まる総合計画では「設置された」と記述しています。
- 「育休退園」については所管課へご意見を伝えます。

→ 廣井会長

- 少子化対策として重要なポイントですので、対応よろしくをお願いします。

○老人クラブ連合会会長代理 蜂須賀委員

- 老人に関する町の取り組みについては満足していますが、若い人が減ってきており、地域活動を継続することが難しくなっています。何か応援体制はあるのでしょうか。
- 水道の老朽化が進んでいるがその対策は取られていますか。
- 獣害について状況が分かっていませんが、以前はよく耳にしましたが最近はあまり聞こえてきません。状況はどなっているのでしょうか。

→ 事務局（柴田課長）

- 「取組分野 6-2-1 地域活動・多世代交流の推進」の「現状と課題」において地域活動に「若い世代が参加しやすい区の運営を目指す」と記述しています。
- 「取組分野 1-2-3 上水道の整備」および「取組分野 1-2-4 下水道の整備」で「老朽化」への対応を記述しています。また、震災を念頭に水道事業の「持続的な運営」に加えて、「安全を確保する」ことも記述するよう検討します。
- 「獣害」の状況については所管課に確認します。

→ 事務局（内田部長）

- 水道については老朽化、耐震化両方への取り組みとして更新作業を進めているが、敷設距離も長く、順次進めているという状況です。

→ 廣井会長

- 記述についてより詳細とすることも含めて検討してください。

○区長会会長 尾崎委員

- 水道の老朽化および耐震化については、震災がいつ起こるか分からないからこそ、水道料金を上げてでも対応すべき課題であると思います。水道料金を上げるとは記述できないとしても、総合計画の策定は方針を変更する良い機会なので、方針を明確化した記述としてほしいです。

→ 事務局（内田部長）

- 水道管の更新はスピード感を持って進めないといけないという認識を持って作業を進めていますが、ご意見は所管課へ伝えます。水道管に限らず、下水管や橋などすべてのインフラの更新が必要であり、優先順位をつけて対応しています。

→ 廣井会長

- どこまで記述するかは難しいところですが、対応方針などを検討してください。

→ 事務局（柴田課長）

- 料金改定も含めて対応を考えていることは記述しています。

○民生委員児童委員協議会副会長 伊藤委員

- 「効率的で健全な行財政運営」において、ふるさと納税や町税など町の収入が増えない中で、既存事業の廃止も含めた見直しが必要であることを記述してほしいです。

→ 事務局（柴田課長）

- 行政改革については総合計画に記述していませんが、行政改革大綱を定めて取り組んでいますので、どのように記述を加えるか検討します。

○幸田土地改良区理事長 都築委員

- フォントがゴシック体で読みにくい。
- 以下のような記述を訂正し、言葉は厳密に記述してほしい。
 - 「ライフワークバランス」は「ワークライフバランス」の間違い。
 - 「コンパクトプラスネットワーク」は分かり難い。
 - 「生産年齢が減少」は、「生産年齢人口が減少」の間違い。
- 「取組分野 1-1-2 河川・ため池・山の整備」における「ため池」についての「浸水被害軽減に不可欠」という記述は、本来の農業用水としての目的外のことであり、防災は機能ではあるが目的ではないので、記述を改めてほしいです。

→ 事務局（柴田課長）

- ご指摘の箇所を含めて、文章を校正し、正しく記述するようにします。
- 「ため池」についての記述は所管課と検討し、修正します。

→ 廣井会長

- 全ての人にとって可読性の高いフォントで、かつ、言葉は正確に記述してください。

○幸田町消防団長 磯部委員

- 消防団員の確保のため、記述されている体験教室以外にも、防火パレードなども行っており、記述を追加してほしいです。

→ 事務局（柴田課長）

- 所管課と記述について検討します。

○4Hクラブ会長 稲吉委員

- 農業のことがあまり書かれていません。
- 住民意識調査の結果の中で「幸田町のよいところ」「幸田町の悪いところ」どちらにも交通のことが上位に上げられています。住んでいる場所などによって交通の利便性に格差があるのであれば、そういう分析も記述してほしいです。
- 町内に子どもを遊ばせる場所があまりないので、増やしてほしいです。
- 農業用水の管が破裂して使えなくなることが複数回ありました。強度を見直してほしいです。

→ 事務局（柴田課長）

- 住んでいる地域や世代によって交通の利便性についても感じ方が違うと思われます。公共交通の見直しで多くの人にとっての利便性を向上させるように取り組んでいます。

→ 廣井会長

- 回答結果だけでなく、できれば分析も記述してください。

○深溝学区まちづくり研究会会長 稲吉委員

- 避難所での空調設備についての記述がありますが、電源の確保がまず必要だと思います。
- 南部地区で「にぎわい・交流ゾーン」は道の駅にだけ設定されていますが、商業振興や観光振興もかねて、三ヶ根駅にも同ゾーンを設定してほしいです。
- 重点方針「(2)超高齢社会へ備える」では「8050問題」や「ダブルケア」が特筆されているが、幸田町では特に問題となっているのか疑問です。

→ 事務局（柴田課長）

- 避難所における空調設備については、停電時でも対応できるよう「プロパンガス」と「蓄電池」で稼働する設備を用意しています。
- 三ヶ根駅はにぎわい・交流ゾーンではありませんが、都市拠点として位置付けており、観光振興に力を入れていきます。
- 「8050問題」や「ダブルケア」は所管課に実態を確認し、記述を検討します。

→ 廣井会長

- 「8050問題」や「ダブルケア」は現在の問題かどうかだけでなく、将来的に問題となるかも考えて記述を検討してください。
- そもそも「幸田町の現状」というセクションはありますが、「幸田町の将来」というセクションも必要ではないでしょうか。

○幸田町ボランティア連絡協議会会長 山本委員

- 70歳を超えた方でもボランティアに参加していただいておりますが、参加する際に移動手段が問題になっています。
- 自分の農地で、隣接の農地が耕作放棄地のために農業用水が来なくなってしまいました。

→ 事務局（柴田課長）

- 公共交通の利便性を高める取り組みを進めます。
- 農業用水の件は所管課に伝え、実態を確認します。

○こうた環境ネットワーク代表 重松委員

- 前回、マイクロプラスチックの問題について記述してほしいと伝えましたが、幸田町環境計画に関する会議でも話題となり、講演会などを開くこととなっています。改めてマイクロプラスチックの問題に関する記述を考えてほしいです。

→ 事務局（柴田課長）

- 所管課と記述を検討します。

○こうた女性の会会長 山本委員

- 重点方針に関する記述を統一してほしいです。
- 水道料金については、もともと幸田町は近隣市よりも高かったのですが近年、近隣市が値上げしてほぼ同一となってきました。他市とのバランスを考えて設定してほしいと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 他市とのバランスを考えて対応します。

○区長会会長 尾崎委員

- 全般的に目標値の設定が現実的すぎると思います。目標値をできるだけ高めに設定すれば、その高い目標を目指してレベルアップしていくことにもなり、取組も変わっていくと思います。
- 例えば、取組分野 1-1-1「防災体制の強化」の目標値である「非常持ち出し袋を用意している住民の割合」が10年間で10%しか上がっていません。本来なら100%を目指すべきではないでしょうか。
- 農業振興の目標値については、就農人数ではなく生産性や生産額を目標にしたら、やり

方が変わると思います。

- 商業や工業についても事業所を増やすのを目標値とするのではなく、付加価値を上げる目標値とすべきです。

→ 廣井会長

- 目標値について、現実的なものだけでなく、より高い目標を設定しても良いのではないのでしょうか。
- 「家具転倒防止対策をしている住民の割合」も 100%もしくは 90%としても良いのではないのでしょうか。

→ 事務局（柴田課長）

- 所管課と目標値の設定を再確認します。

○幸田荻谷土地区画整理事業準備委員会副代表 稲吉委員

- 一世帯当たり人数が昔は 7~8 人が当たり前でしたが、2.52 人になったということは夫婦 2 人に子どもが 1 人いるかいないか程度になったというのは印象的です。
- 定住意向についても 9 割の人が定住意向有りと回答しています。
- 交通についても「幸田町の悪いところ」で選択した人が 38%の一方、「良いところ」で選択した人が 15.8%で、倍近くの人が「悪い」と評価しています。
- 幸田駅を起点にした公共交通の整備を急がないと利便性が悪くなるばかりだと思いません。
- えこたんバスについて、利用者数が限られており、多くの人に活用してもらい、移動手段として利便性を高める必要があります。バスのサイズを小さくして、本数を増やすなど考えてみてはどうですか。
- 前回までの審議会資料と同じような資料が多く、どこがどう変わったか分かり難かったです。

→ 事務局（柴田課長）

- 人口減少が進む一方で、世帯数は増えており、核家族化、さらに単身化が進んでいると認識しています。
- 幸田駅はじめ、3 駅プラス 1 を都市拠点として、公共交通の整備を進めています。
- えこたんバスは現在、1 便当たり 5, 6 人の乗車数であり、より利用を増やすため、ルート見直しています。また、そのルートから外れた地域ではデマンド型バス「チョイソコこうた」を利用してもらおうことを想定しています。

→ 廣井会長

- 人口目標だけでなく、出生率を1.8%とすることも目標としてはどうでしょうか。
- コンパクトシティ化をすすめると、周辺部との交通の便の格差が広がる。デマンド型バスなどを活用し、バランスをとる必要があります。
- 資料については、どこが変わったか、見消しで表示するなど工夫してはどうか。

○日本福祉大学教授 児玉委員

- 住宅セーフティネット法が定められ、「住宅確保要配慮者」への、見守りや支援などの居住サポートがついた住宅の整備について、重点方針には記述を追加してもらいましたが、取組分野「1-3-1 住宅の整備」や「4-3-1 地域福祉・高齢者福祉の充実」には記述されていません。記述を追加してほしいです。
- 「包括的相談支援体制の構築」は取組分野「4-3-2 障がい者福祉の充実」に記述されていますが障害福祉に限らないので、「4-3-1 地域福祉・高齢者福祉の充実」に記述を移してほしいです。

→ 事務局（柴田課長）

- 所管課と検討します。

→ 廣井会長

- 重点方針に掲げてあるので、基本計画にも記述してください。

○教育委員会教育長職務代行 中西委員

- 総合計画を策定するにあたり、限られた回数での審議会だけでなく、分野別の会議などを開くのが良いと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 意見徴収の方法については検討します。

→ 廣井会長

- これからパブリックコメントまでの1カ月程度の間に分野別に意見を徴収する会議を開いてみてはどうでしょうか。

○幸田土地改良区理事長 都築委員

- 住宅耐震化について、現在改築工事は補助金の対象だが、建て替え工事は対象外です。建て替え工事も対象とすれば増えるのではないのでしょうか。
- 実行計画を毎年見直すのであれば、見直した結果を町民に示すようにしてほしいです。

→ 事務局（柴田課長）

- 補助金の対象を変更することは難しいと思われます

2 その他

（1）本編デザイン案および概要版

【事務局説明】

- 配布資料⑥および⑦に基づき、事務局である幸田町企画政策課の内田主査から本編デザイン案および概要版案について説明を行った。

【委員からの意見】

○区長会会長 尾崎委員

- 読みやすいフォントにしてほしいです。

○幸田町ボランティア連絡協議会会長 山本委員

- 災害時相互応援協定締結市町の地図で、蒲郡市と西三河 9 市 1 町の表示位置を修正してください。

（2）パブリックコメントの実施について

【事務局説明】

- 配布資料①に基づき、事務局である幸田町企画政策課の内田主査からパブリックコメントの実施について説明を行いました。

【委員からの意見】

特になし

→ 廣井会長

- オープンハウス型の開催についても、分野別の意見聴取の会議と合わせて実施を検討してください。

【内田部長】

本日はお忙しいところお集まりいただき、慎重審議していただきありがとうございました。委員の皆様からのご意見について対応を検討し、それを踏まえてパブリックコメントを進めていきます。